

受難・謙遜・寛容

ルカの福音書9:43b-50
2012, 3, 4 HKJCF

I 概観

序)①栄光の山と地上の現実②イエス様の権威③受難予告(2) 参)マルコ9:33-

- | | |
|------------|--------|
| 1、受難 | 43b-45 |
| 2、謙り | 46-48 |
| 3、寛容 | 49-50 |
| 4、結)十字架の本質 | |

適用)今週、十字架信仰(神の国の原則)を生活のどの面で適用しますか？

II 受難

1、十字架による救い

- ①信仰告白と第一回目の受難予告
- ②弟子への決断の勧め
- ③栄光と十字架による救い

2、キリストの本質

真のメシヤ像の啓示:栄光→苦難→栄光
⇒弟子はただ、不安(理解不能、恐れ)に感じた(マタイ16:22)←聖霊によらずば

III 謙り

1、原罪① 高ぶり・競争心

- 2、子どもの本質①無能力②無価値③無条件の愛が必要 子ども→イエス様→神様
- 3、弟子の十字架:価値観の変革→謙り
⇒業績に基づく愛から存在を愛する無条件の愛(イエス様の愛)への価値観の変革が十字架信仰に伴う
⇒一番は無条件の愛によって生き、謙る者(愛のパラドックス)

IV 寛容

- 1、原罪② 自己中心・党派心
- 2、イエスの名の価値(48,49:実質と形式)
- 3、弟子の十字架:価値観の変革→寛容
⇒十字架信仰により人間関係が自分を基準としたものからイエス様を中心とし、イエス様を間に置くものとなる 参)信仰が裁きの基準となる危険

V 十字架の本質

- 1、救いの原理・方法
- 2、神の国の価値観←原罪からの解放
⇒栄光と地上の現実をつなぐのは十字架
⇒原罪に勝利するのはイエス様の愛のみ
⇒原罪への勝利・解放と神の国の価値観に生きる弟子(キリスト者)たち
救い⇒価値観の変革→神の国の生き方
価値観の変革が神の国の生き方の鍵